

2022年3月2日

これまで全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関に
冠動脈疾患・心不全・大動脈疾患・心臓手術で入院されたことのある
患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは、日本循環器学会が実施する循環器診療実態調査を用いて、「循環器病急性期病院におけるシームレスな医療提供体制に関する実態調査」を行っています。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、日本循環器学会が実施する全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関より登録された方のうち、冠動脈疾患・心不全・大動脈疾患・心臓手術で入院された方

【研究課題名】

循環器病急性期病院におけるシームレスな医療提供体制に関する実態調査

【研究責任者】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター
情報利用促進部 上級研究員 金岡 幸嗣朗

【研究の意義・目的】

循環器疾患は、急性期の治療を要する疾患が多いですが、急性期施設を退院された後も、再入院や再発を予防するために、急性期病院と回復期・慢性期病院との円滑な連携が必要と考えられる一方で、実際は、連携が十分にできていないことが示唆されています。

本研究の目的は、循環器急性期病院における、入院中から退院後にかけての病病連携・病診連携の実態を明らかにすることです。

【情報の提供元】 一般社団法人日本循環器学会 責任者：平田 健一

【利用する診療情報】

参加施設から日本循環器学会循環器疾患実態調査へ提供された以下の情報

年齢、性別、身長、体重、転帰、併存症スコア、日常生活動作、各疾患の重症度指標、入退院日、および入院と外来の診療報酬請求情報に記載された傷病名、医療行為、加算取得、薬剤情報。循環器疾患診療実態調査に記載された項目（都道府県・病床数・患者数・循環器医師数・専門医数・死亡数・手術・検査件数）。

【研究期間】 研究許可日より2025年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては本研究では取り扱いません。
また、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター 情報利用促進部

上級研究員 金岡 幸嗣朗

電話 06-6170-1070(代表) (内線 40257)